



# 杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員の会（さくら会）

杉並支部HP <http://tokyousosuginami.web.fc2.com>

〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内 Tel 3399-8719 Fax 3399-3855

## NO WAR! ウクライナに平和を!

### コロナに負けず元気に過ごしましょう

木々の緑も、日一日とその濃さを増し、吹く風もさわやかな初夏となりました。学校も新入生と新しい仲間を迎え、新年度のスタートです。

しかし、目を欧州に転じれば、入学式はおろか学舎も友達も、自らの命までも奪われてしまった子どもたちの出現に、胸が潰れる思いの日々が続いています。多くの人命を奪い、人々を故郷から追い立て、武器・弾薬を湯水のように使い、歴史有る街並みは廃墟と化す。これほど無益で愚かなことはありません。

ロシアのウクライナ侵攻の報道に接するたびに、日本国憲法「9条」の素晴らしさを痛感します。外国の紛争地・戦闘地域の人々が、自分の国にも「9条」が欲しいと願う所以がよく分かります。

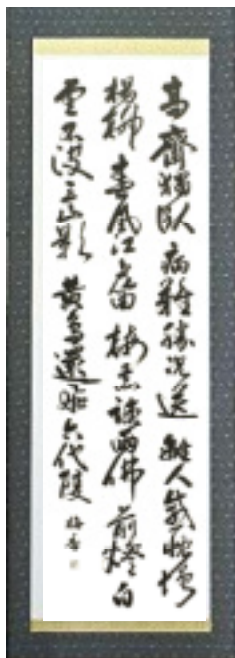
ところが、今回のロシア侵攻を逆手にとって、「敵基地攻撃能力」や「核共有」など、アメリカと一緒に戦争をしたい改憲勢力の、マスコミを使っての攻勢も見過ごせません。今この国の政治に求められているのは、核や武力による「抑止力」や威嚇に頼ることはありません。「9条」を生かした平和的外交を世界に展開・発信することではないでしょうか。加えて、科学的知見に基づく先を見通したコロナ対策、年金制度の充実、コロナによって益々多忙化し問題の山積する学校現場への支援等々……憲法をくらしに生かす手厚い施策への転換ではないでしょうか。

みなさんの地道な努力に学びながら、杉退教の心をひとつにして、この危機を乗り越えて頑張りたいと思います。

- ◇ 戦争が「自衛」という名の隠れ蓑纏い近づく音が聞こえる
- ◇ シェルターに息を潜めてかじるパン喉を通るか味は分かるか
- ◇ 「ウクライナは滅びず」の歌聴きながら己は何を成すかを問へり

（「ウクライナは滅びず」はウクライナの国歌）

## 2022年「さくら紙上ギャラリー」の作品について



左の書について、作者の元E小学校、H・Iさんに解説をしていただきました。

### 送王翰明遊白下

(おうかんめいの はくかに あそぶをおくる)

「高齋にやんでいる私を残して、君は白下に行ってしまった。天門山の春の景色を誰と眺めることができようか。」

宗琬(そうえん)の惜別の詩です。残されたものの寂しさが迫ってきます。

作品は、明代の書家「黄同周(こうどうしゅう)」の字を手本とした創作です。「黄同周」を臨書し始めて半年あまり。全く字を理解できていないのが、我ながら残念。努力します。

## ペープサートを学生と一緒に作りました



ペープサートを今年の後期は明星大の学生と作りました。春休みになったらみんなで大島に行くつもりだったのですが、オミクロンの患者数増加で受け入れる側の保育園が軒並み延期という形になって中止せざるを得ない状況になってしまいました。

ところが一人だけ、今がチャンス!と、私が大島に行くのに便乗して一緒についてきてくれました。そこでいつも行っている学童保育にも同行してもらいました。杉並区議のYさんの義理のご両親が運営しているところと、私の家の近所の学童保育の2か所でペープサートを演じました。演者が2人でしたので、子どもたちが一緒に演じてくれて、それは楽しいひとときになりました。写真は学生たちみんなで作った「おも



ちあのチャチャチャ」です。(ギャラリーさくらにカラー掲載)

子どもたちは人形を見た瞬間、「おもちゃのチャチャチャでしょ?」と喋ってくれました。仕掛けが面白くて花のドレスを広げたり、ロケット噴射したり、学生たちの手作りの作品が子どもの心をつかんだのでした。

学生のコメントを紹介します。

「一人で行ったからこそ、子どもたちとより深くかかわることができたと思います。島の人たちの温かい心にも触れ、すてきな体験をすることができました。楽しかったです。ぜひ、またいけるといいなと思います。」

## 89年前に見た歴史

3月2日、国連で89年前に起きた国際的孤立化の歴史の映像を見た。

1933年日本は自衛のために始めた満州事変を侵略だと国際連盟が決めたため、これを脱退した。42対1で「我が代表堂々退場す」と。国民はこれを熱狂的に支持したのである。そしてこの日中戦争は15年続き、日本は敗戦した。

2022年国連総会は、ロシアのウクライナ侵攻への非難決議を141対5の賛成で採択した。ロシアの国際的孤立を、ロシア国民はどう受け止めたのか。情報戦の中、自分に都合の良い情報しか流さず、プーチンの言うロシア系住民を守る自衛の戦争と信じているのか。

ウクライナ国民の犠牲は、いかにどのものになるのか。無抵抗な市民をミサイルで殺害するなど、戦争犯罪そのものである。破壊されたハリコフ市庁舎の再建の費用はいったい誰が出すのか。この戦争は何年続くのか、戦後の

復興は何も考えられていないのではないか。ロシアが勝てば賠償金など払わず、壊しっぱなしなのか。ロシア企業が儲ける仕組みか。まさかと思いたいが、プーチンは本当に核兵器を使用する気なのか。

人間はどうして戦争という失敗を繰り返すのか。孤立より協調を学んだ世界大戦だったのではないのか。

その反省から生まれたのが、日本国憲法9条なのではないか。際限のない軍備拡張でない、着実に平和外交を進めるため、今こそ平和主義を政策にかかしていく人間の智慧が必要だと思う。



**7月3日 (日)**  
 pm1:30 開場  
 pm2:00 開演

西荻 勤労福祉  
 会館ホール

杉並区議会4-3-1  
 南「南4丁目」下車

**杉並ぞうれっしゃ合唱団**  
**ファミリーコンサート2022**

【第一組】  
 ＊オープニング合唱：「テレビの歌」  
 ＊ゲスト出演：藤本アンサンブル  
 フルート 西村ハジメ ユーセルスワグ  
 ホルン 藤野泰幸 フォクソフエイクラ  
 ピアノ 西原美子  
 トリオ ドップラー・リゾの歌い出し

【第二組】合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」  
 劇団の合唱団 合唱 青木利雄 作曲 藤村昭一郎  
 指揮 西村ハジメ ピアノ 西原美子  
 フルート 西村ハジメ ホルン 藤野泰幸  
 演奏 藤村昭一郎 指揮 藤野泰幸 声入 青木利雄  
 合唱 杉並ぞうれっしゃ合唱団  
 指揮 西原美子  
 合唱 杉並ぞうれっしゃ合唱団

【チケット】  
 おとな 1,500円  
 こども(小学生以下) 800円  
 ※子育て支援券申請中

主催：杉並ぞうれっしゃ合唱団  
 (連絡先)〒167-8031 杉並区本天竺3-18-9 302 電話 090-8953-6006

7月3日(日) pm2時開演  
 西荻勤労福祉会館ホール  
 みなさん ご来場ください。

**すぎなみピースフォーラム2022**  
 戦争・原爆・原発・平和と憲法を考える  
 展示とイベント

8月6日(土) 13:00~18:00  
 7日(日) 10:00~16:00

会場：杉並区立産業商工会館

平和憲法をいかし、  
 核も戦争もない世界の実現へ！

2021年度 杉退教会計報告

現金扱い会計の部

* 収入	
前年度からの繰り越し	20.481
会費・カンパを含む	57.000
都退教から補助	9.984
収入合計	87.465
* 支出	
分担金	10.000
消耗品	5.238
印刷費	11.856
郵送料	9.020
交通費補助・謝礼	5.000
資料代	3.650
支出合計	44.764
次年度への繰り越し	42.701

切手会計の部

* 収入	
繰り越し切手	37.183
会費カンパ切手等	38.950
収入合計	76.133
* 支出	
切手使用等	37.973
次年度への繰り越し	38.160

**会計監査報告**  
 現金、切手会計とも適正に支出されており、残額もこの通り確認しました。 2022.4.14